



# 10月食育だより

令和3年10月  
平川市学校給食センター

あさゆう すず 朝夕涼しくなり、秋が深まってきました。あき ぶんか 紅葉が見ごろを迎えます。こうよう み 日中と夜の気 にっしゅう よる き  
おんざ おお のうさくもつ おい みの あき あき みかく たの 温差が大きくなり、農作物などが美味しくなります。実りの秋です。秋の味覚を楽しみながら、えいよう 栄養をしっかりととりましょう。ただし、かんせんしょう よぼう 感染症予防のための手洗い・うがいは忘れずに行いましょう。

# 10月は3R推進月間!

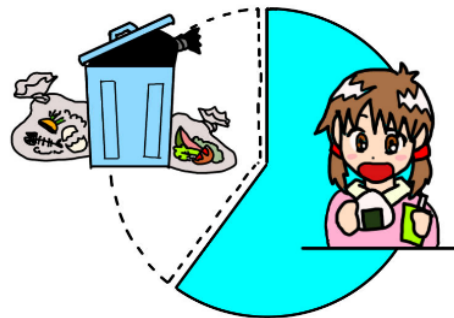
こくみん じぎょうしゃ たい スリーアール りかい きょうりょく もと じゅんかんがたしゅかい  
国民や事業者に対し、3Rに理解と協力を求めつつ、循環型社会の  
けいせい む とりく すいしん げっかん スリーアール  
形成に向けた取組みを推進する月間です。3Rとは「リデュース」  
「リユース」「リサイクル」のことで、この他にも「リフューズ」  
(Refuse: 余計なものを断る)「リペア(Repair: 修理する)」なども、  
かぎ しげん たいせつ つか ほろほう わたし す ほし ちきゅう まも  
限られた資源を大切に使う方法です。私たちが住む星「地球」を守っていきましょう。



## 10月は「世界食糧デー」月間です

### 世界食糧デーとは?

10月16日は国連が制定した、世界の食糧問題について考える日です。日本では10月を「世界食糧デー」月間として、さまざまなイベントが開催されます。世界では、すべての人が十分に食べられるだけの食糧が生産されているのに、8億2000万人が飢えています。一方でたくさんの食べ物を輸入しながら、たくさんむだにしている私たち。世界では毎年、食用に生産されている食糧の約3分の1が食べる前にむだになり、捨てられてしまっています。世界食糧デーをきっかけに、私たちが毎日食べているものはどこから来ているのか考え、作ってくれた人に感謝し、食べ物をむだにしないためにはどうするべきか考えてみましょう。



「世界食糧デー」  
月間2021  
10/1金 ▶ 10/31日

みんなで  
食べる  
幸せを

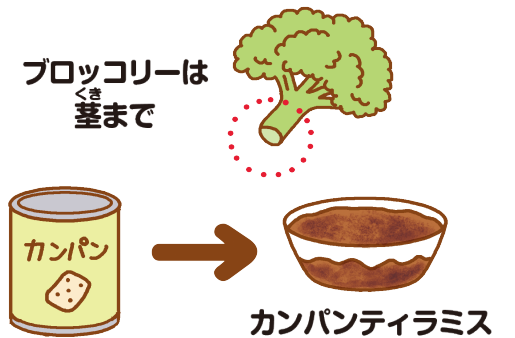


### 減らせる(Reduce)



自分に合ったふさわしい量を知り、それなるべく残さず食べるようにして、食べ残しをできるだけ減らしましょう。まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物(食品ロス)も減らしていきましょう。

### ムダなく使える(Reuse)



食品については、材料をむだなく使い切ったり、残りのものを別な料理にアレンジしたりして、むだなく使うことも含まれます。特に災害に備えて備蓄している食品などは工夫して食べ切りたいですね。

### よみがえる(Recycle)

野菜くずなどの生ごみを再び堆肥にして畑で使ったり、牛乳パックから再生紙を作ったりして、限られた資源を有効に使いましょう。

